

本調査は調査部会が住宅サッシメーカー5社の協力を得て平成20年9月に調査を行ったもので、今回で通算33回目となる。

1. 調査対象

平成19年から、20年調査時まで建てられた全国都道府県（沖縄を除く）の居住専用の木造並びにプレハブ住宅を対象とした。「戸建住宅」では有効調査数4,405票（戸）を集計して3,000に基準換算し、「共同建住宅」でも1,337票（棟、約10,000世帯）を1,000に基準換算した上、双方を区分して一冊にとりまとめた。

2. 調査の概要

調査項目は、住宅の「工法」「階数」「床面積」「外壁材料」の特性、及び「窓」「出入口」「エクステリア」に使用されている「製品タイプ・取付率」「材質」「仕上色」等である。項目毎のデータは、全国平均値の他 ①地域別9区分(46都道府県別) ②断熱地域別5区分 ③工法別3区分について分析した。19年度より防犯対策(CP)製品の取付状況を調査項目に加えた。

1) 戸建住宅の主要項目概要

* 数値表記：今回%(前回%)

- ① 階数別構成比は「2階建」が89.8(89.2)と大多数を占める。「平屋建」では全国平均4.0(4.1)に対し九州の17.1(14.0)が、「3階建」では全国平均6.2(6.6)に対し関東の10.2(10.9)、近畿の12.7(11.8)が比較的多く、特徴を示す。
- ② 外壁仕上げは、「窯業サディング」が71.4(69.9)、さらに「サイディング合計」で79.8(78.9)を占める。「モルタル」は13.7(14.7)で、やや低下した。
- ③ 窓のアルミ化率は、全国で93.0(93.3)に達し、「樹脂サッシ」はI、II地域で普及して、全国では6.8(6.7)となっている。「アルミ複合材料製」は33.8(27.3、10年10.0)で、寒冷地一帯に伸張している。
- ④ 窓のタイプ別構成比は「引違い窓」は47.4(48.2)と微減。「二重窓計」0.9(1.0)と「出窓」1.6(2.0)は通減し、特殊窓は48.4(47.1)と通増している。東北における「二重窓」の断熱製品としての位置付けは複合材料製及び樹脂製サッシに置換した。前回より製品項目の「テラスドア」1.7(1.6)を、「玄関」から「窓」に異動した。
- ⑤ 特殊窓の内訳は、全国平均で「開きタイプ縦軸」34.7(32.7)、「上げ下げ」18.6(20.0)、「FIX」19.2(20.0)、「ルーバー窓」10.1(11.5)、「開きタイプ横軸」14.3(12.1)、となっている。
- ⑥ 主要製品の「色」では、全国平均「ライトグレー」72.1(68.5)、「ブロンズ」7.9(8.4)、「ブラック」6.1(7.2)、「ダークグレー」4.9(6.8)、「ホワイト」7.5(7.3)となっている。「ブラック」は11年70.3をピークに下降し、ライト・ダーク「グレー色」が75%超となった。「ブロンズ」は長期にわたり通減している。
- ⑦ 玄関ドアは、「開戸」が全国平均で89.9(90.5)を占め、引戸では北陸の23.0(19.5)が最も高い。
- ⑧ 断熱製品の取付率は全国平均で窓数比40.9(34.1、10年16.4)で大きく増加した。断熱I地域では100.0(97.4)、II地域でも96.4(97.4)と、ほぼ完全に断熱化されている。
※断熱製品 ⇒ 樹脂製・複合材料製・複層ガラス入木製・二重窓(和室二重窓除く)
- ⑨ 複層ガラスの取付率は、全国平均では「戸数比」95.0(94.4)、「窓数比」90.1(89.0)となった。断熱地域区分I、II、III地域においては「戸数比」で、ほぼ100%となった。IV、V地域でも「戸数比」で93.6(92.9)、81.8(82.3)と伸びている。
- ⑩ 窓への防犯(CP)ガラス取付率は戸数比8.0、玄関へのCP製品取付率は戸数比5.2となっている。
- ⑪ 浴室はユニット化率が98.8(97.5)まで進み、完全に標準化した。材質別比率ではアルミ製70.1(67.0)、樹脂製29.5(32.5)となり、タイプ別比率ではドア27.5(29.4)、引戸26.9(23.8)、中折戸45.5(46.8)となっている。
- ⑫ 雨戸の取付率「戸数比」は全国65.8(65.4)で横這い。雨戸の内、「シャッター雨戸」構成比は83.9(82.3)まで達した。尚、「雨戸」と「面格子」の地域別取付率分布状況は符合して重なる。

2) 共同建住宅の主要項目概要

- ① 1世帯当りの「平均床面積」は41.3(38.0㎡)と微増。40㎡未満の地域は関東のみである。
- ② 外壁仕上げはサイディング合計で83.7(84.8)を占める。
- ③ 窓のアルミ化率は、全国平均84.2(88.7)となり、内 複合材料製は9.0(8.3)である。樹脂製15.9(11.1)は戸建より高い。
- ④ タイプ別構成比では「引違い窓」が58.9(59.4)を占め、戸建47.4(48.2)に比べ高い。
- ⑤ 主要製品の「色」では全国平均、「ライトグレー」60.1(52.9)、「ホワイト」20.0(22.9)、「ブラック」14.4(13.4)、「ブロンズ」4.6(5.0)、「ダークグレー」2.9(4.3)となりライトグレーの伸長が顕著。「ブラック」は11年の59.7%を頂点に減少している。
- ⑥ 断熱製品取付率は、全国平均で窓数比25.0(20.0、10年10.1)と漸増している。断熱I地域99.0(98.8)とII地域91.0(96.0)は90%以上となっている。「戸建」に比べ、III、IV、V地域の断熱化は立ち遅れている。
- ⑦ 複層ガラスの取付率は、全国平均では「棟数比」62.6(54.6)と「窓数比」59.4(51.8)。「棟数比」において、I地域100.0(100.0)、II地域100.0(96.9)と、共に標準装備となった。
- ⑧ 雨戸の取付率は「棟数比」では53.7(49.7)と「戸建」65.8(65.4)より低い。一方「シャッター比率」は89.5(90.3)となっており、「戸建」83.9(82.3)を上回り、共同建特有の制約された「間取り」を現わす。

以上

(社)日本サッシ協会 (社)カーテンウォール・防火開口部協会 調査部会

※集計表を併せ収録した『住宅用建材使用状況調査』を購入ご希望の方は(社)日本サッシ協会へ直接申込み下さい。

価格 5,250円/部(送料別途)

Fax03-3500-3477